市民表彰

平成23年度の枕崎市民表彰受賞者として、地方自治・教育文化部門において椎原久昭さんが選ばれました。

市制施行記念日である９月１日、授賞式が地場産業振興センターで行われ、多数の出席者が長年の功績を讃えました。

椎原久昭さん（77歳・立神北町）

椎原さんは、平成10年12月、市公平委員会委員に就任以来、12年間もの長きにわたり公正中立の立場にある機関の委員として、地方公務員の利益の保護と人事行政の適正な実施を確保するなど、地方自治の発展に寄与してきました。

特に、平成14年３月から平成22年12月までの間、委員長として豊富な経験を発揮し、その卓越した見識と常に公正中立の立場を貫き通す信念は、委員からも高い評価を得るとともに、円滑な委員会運営を推進してきました。

また、文化協会が発足した昭和44年２月に理事に就任し、平成18年４月から平成23年３月まで会長として協会の活動を牽引してきました。

この間に、市文化資料センター運営協議会、南溟館友の会の委員も歴任するなど南溟館の運営にも多大な協力をいただきました。

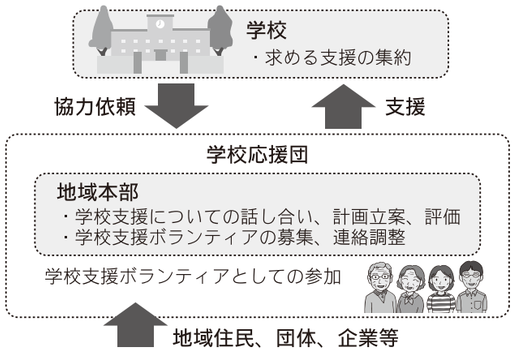
地域で取り組む子どもの健全育成「まくらざき学校応援団」ボランティア募集

生涯学習課　TEL72-0170　内線817

子どもたちが健やかに成長することは、地域のみんなの願いです。本市では、学校の活性化と家庭や地域の教育力の向上を図る事業を重点的に展開しています。その一つとして、学校、家庭、地域が一体となって子どもの健全育成に取り組む体制づくりを目指す「まくらざき学校応援団」推進の取り組みを平成22年から始めてきました。

このような取り組みは、全国的に行われています。他県や県内の先進地区の仕組みづくりを参考にしながら、各地区公民館等と連携し、小学校や中学校における枕崎ならではの「学校応援団」組織づくりを目指します。

「まくらざき学校応援団」のイメージ



視点を変えてボランティアの方々の立場でとらえると、「これまで学ばれた成果の発表の場」や「知恵や経験を伝え広げる場」であったり「子どもとふれあうことでの、喜び・楽しみ・元気づくりの時間」であったりします。

得意な技術・技能がなくても、何らかの形で学校の支援をしていただける方はどなたでも大歓迎です。本紙折り込みチラシまたは生涯学習課、最寄りの地区公民館（センター）に置いてある申請書でお申し込みください。

● 各学校が探しているボランティア

学校名	支援してもらいたい主な内容
枕崎小・中	毛筆・硬筆の指導、戦争体験談、ミシンの操作、水泳・陸上・器械運動の指導、放課後の補充指導、金管バンドのパートコーチ等、武道の指導助言、部活動の指導
桜山小・中	毛筆の指導、戦争体験談、ミシンの操作、水泳・器械運動の補助指導、工作の補助指導、金管バンドの指導、ニュースポーツの指導、放課後教室、部活動外部コーチ
立神小・中	毛筆指導、戦争体験談、ミシンの操作、持久走大会練習時の交通安全立哨、学校農園の整備、マーチングの指導、登下校の安全指導、あいさつ・声かけ運動
別府小・中	毛筆・硬筆の指導、戦争体験談、絵画の指導、ミシンの操作、花・野菜づくり、職員会議のときの巡視、登下校の安全指導
金山小	毛筆の指導、昔話、本の整理、樹木の剪定、校区内のパトロール

市防災訓練

大津波を想定し防災訓練

①立神小学校へ避難する住民　②炊き出した食料を配布　③避難所となった立神小学校体育館

―午前９時、奄美大島近海を震源とする大規模な地震が発生。本市でも震度５弱の強い揺れを観測。午前９時05分、気象庁は鹿児島県西部に大津波警報を発表。地震発生後、30分から１時間後に６～８メートルの津波が襲来する恐れあり―

●　●　●

大津波を想定した市防災訓練が９月25日、立神地区で行われました。大津波警報の発表と同時に、防災無線からウーッ、ウーッというサイレンが響き住民に避難指示が発令されると、田中・田畑公民館の住民が避難所となる立神小学校を目指し避難を始めました。当該地区の自主防災組織による誘導や要援護者の避難支援、消防車両による広報も行われ、約５６０人が参加する本番さながらの訓練となりました。

避難訓練のあと、避難所となった立神小学校では、消防署員による市内の自主防災組織を対象とした応急救急訓練や、まくらざきハーモニーネットワーク委員会による炊き出し訓練などが行われました。

また、東日本大震災発生後、すぐに現地へ向かい活動を行った県の消防防災ヘリ「さつま」の隊員と宮城県石巻市に派遣され、行政事務を行った市職員の報告会もあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

▲防災ヘリ「さつま」による現地での活動を紹介する隊員

「備え」してますか？

大災害はいつどこで起きるかわかりません。災害が大きければ大きいほど、ライフラインの断絶などにより「自分の身は自分で守る」という状況に置かれる可能性が高くなります。このような状況で迅速に落ち着いて対応できるように、日ごろから避難経路の確認、非常用持ち出し袋など防災グッズの準備や点検など備えを万全にしておくことが大切です。

目指せ全国制覇！ 女性消防隊全国大会出場壮行会

10月19日、横浜市で行われる全国女性消防操法大会に県代表として枕崎市女性消防隊が出場します。その壮行会が９月25日、市内のホテルで行われ、支援する団体や県消防協会、消防団員など約220人が出席し隊員を激励しました。会では、隊員を代表して俵積田尚子隊長が「カツオのように元気に頑張ってきます」と意気込みを述べました。

現在、女性消防隊は仕事のあとに集まり、夜間練習に励んでいます。頑張ってください。